

クラブ長期計画・クラブ研修リーダー

担当理事 平本 康雄

《方針》

コロナ禍の2年余りロータリークラブとしての活動が制限され、過渡期を迎えたクラブの5年後10年後を見据えたクラブの在り方を模索し会員皆で考え構築していく。

《実行計画》

- ① 前年度企画、実施した市内横断歩道旗設置事業を、経年事業として進める。
- ② 市内小学校を対象にトスポール事業を経年事業として企画運営する。
- ③ これからの綾瀬ロータリークラブとしての運営を皆で検討し推し進める。
- ④ 入会間もない会員に、会員フォーラムや懇談会などで、わがクラブの歴史等を学んでもらう。

クラブ研修委員会(クラブ長期計画)

委員長 青柳 孝夫 副委員長 渡井 克正

委員 南里 和宏 / 矢口 大作 / 加藤 良男 / 生駒 秀之 / 中島 保司

《方針》

クラブ会長方針のもと、クラブ研修リーダーと共にクラブ内の研修事業を企画実施し、クラブを活性化させていく。

《実行計画》

- ① 地域社会の変化とニーズを的確に捉える。
- ② 地域の青少年の支援活動の研究
- ③ コロナ禍の中で出来る奉仕事業
- ④ ロータリーに関する研修会を開催する。
- ⑤ 地区研修委員会の内容をクラブへフィードバックしていく。

クラブ奉仕委員会

担当理事 南里 和宏

《方 針》

当委員会は、クラブ活動の基軸となる「例会運営」「会場監督(SAA)」「プログラム」「親睦」の四委員会で組織されており、クラブの雰囲気左右する存在である。関連委員会の連絡・調整を密にし、活発な活動に繋がるよう努力する。

《実行計画》

- ① スムーズで品位・品格のある明るい例会運営を心掛ける。
- ② 卓話の時間を使い、例会が楽しくなるよう心掛ける。
- ③ 会長方針の「楽しもう」を実践できる親睦活動を企画する。

プログラム委員会

委員長 栗原 茂明 副委員長 渡井 克正

委 員 津田 哲郎

《方 針》

会長の方針を踏まえ、卓話の時間が楽しく、充実した時間となるように、工夫して講師や卓話者を選考する。

《実行計画》

会員に興味のある話題を委員会で検討し、卓話者をお招きする。

- ① 地域のできごとや話題性の高い卓話者をお招きする。
- ② お互いをより深く知るために、会員による会社経営、最近の関心事などの話を提供してもらう。
- ③ ロータリーの「月間」に因んだ話を関連委員会に依頼し、ロータリーの話題等を提供する。
- ④ 音楽や芸術・趣味などの楽しい時間を提供する。

例会運営委員会

委員長 古郡 孔文(合唱) 副委員長 見上 周大(スマイル) / 高橋 孝司(出席)
委員 (合唱) 堀内 岳 / 田墨 幸一郎
(スマイル) 志澤 直樹 / 斎藤 敬訓
(出席) 佐藤 涼栄 / 伊東 裕之

《方針》

厳粛さを保ちつつ、明るく和やかな例会運営に努める。

《実行計画》

合唱・出席・スマイルの三委員会が連動し、クラブの年度テーマ「楽しもうロータリー」の推進役を実践する。

SAA委員会

委員長 加藤 良男 副委員長 栗田 智太
委員 鈴木 洋一 / 志澤 直樹

《方針》

土橋会長の方針に則り、コロナ禍でも例会がとにかく明るく楽しい例会となるよう、また和やかな雰囲気の中にも規則正しく会員相互にとって有意義な場になるよう務めて参ります。

《実行計画》

- ① 出席してよかったと思える例会を目指す。
- ② 次回例会の予告を発表し、例会に参加を促す。
- ③ 例会の席の工夫をする。
- ④ コロナ対策を実施する。

親睦委員会

委員長 矢口 大作 副委員長 川浪 潤

委員 志澤 直樹 / 津田 哲郎 / 岩沢 修之 / 峰尾 四郎 / 堀内 岳
笠間 茂治 / 竹ノ谷 雅人

《方針》

関連する各委員会と密に連携をし、多くの会員と会員ご家族が参加をしてみたくなるような笑いの絶えないそして思い出に残る企画をするように努めます。

《実行計画》

関連部署との連携を密にして、下記の年間行事を推進する。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 会長・幹事慰労会 | 7月5日(火) |
| ② 納涼移動例会 | 8月2日(火) |
| ③ クリスマス例会 | 12月20日(火) |
| ④ 新年会 | 1月11日(水) |
| ⑤ 花見例会 | 3月～4月 |
| ⑥ 創立記念例会 | 5月9日(火) |
| ⑦ その他(誕生日会・同好会合同等) | 随時 |

※今年度の実行計画は、社会状況を考慮し変更する事があります。

公共イメージ・会報委員会

担当理事 田墨 幸一郎

《方 針》

地域の方々にロータリークラブの活動を積極的に発信し、関係委員会と協力しあい、明るくそして活発な活動を行っていきます。

《実行計画》

- ① 地域情報誌等をフルに活用しロータリー活動をアピールしていきたい。
- ② 「ロータリーの友」やホームページを最大限活用しロータリー活動の周知を図る。
- ③ ピーナッツ掘り、鮎の放流、ポリオ等の活動を通じて地域へ発信していく。

会報・IT委員会

委員長 高橋 孝司 副委員長 柴田 智太

委 員 志澤 直樹 / 島田 裕亘

《方 針》

例会及びクラブの活動を正しく正確な記録を残し、各会員に伝える。

《実行計画》

- ① 会報は委員会メンバーが協力して作成する。
- ② 委員会報告は原稿等お願いして掲載に努める。
- ③ ロータリー情報を積極的に掲載する。

公共イメージ・雑誌委員会

委員長 川浪 潤 副委員長 平本 康雄

委 員 岩沢 修之

《方 針》

ロータリークラブの存在を一般市民に理解を頂くための周知や認知度の向上を目指し、明るいイメージの広報活動を行う。

《実行計画》

- ① 綾瀬ロータリークラブの公共イメージについて考え会員に伝える。
- ② ロータリーの友などの関連雑誌より教材となるものを抜粋し会員に広報すると同時に広報誌やメディア等でより多くの方に活動を知ってもらう。

会員増強関連委員会

担当理事 津田 哲郎

《方 針》

クラブ活動計画を円滑に推進し、クラブの未来を確かなものにしていく為には、会員増強が必須となります。常に会員増強の必要性を周知し、安定会員の確保に向けて継続的な会員増強計画を行って参ります。

《実行計画》

- ① 純増目標 2名+aを目標とする。
- ② 会員全員が有力候補者情報を共有する為、情報交換を密に行い定期的に委員会を開催する。

会員増強・ロータリー情報委員会

委員長 笠間 茂治 副委員長 伊藤 正貴

委 員 加藤 良男 / 中島 保司 / 生駒 秀之 / 田中 伸宜 / 栗原 茂明
青柳 考夫

《方 針》

クラブの活性化とロータリアンとしての活動の機会を拡大するためには人材確保が重要です。会員の活動として会員拡大を位置づけて会員増強を図ります。

《実行計画》

- ① 全会員が会員増強をクラブライフとできるよう炉辺会合や情報を提供する。
- ② 会員候補者を会員から情報提供を受けたら入会勧誘を積極的に働きかける。
- ③ 会員が仲間を増やすことでロータリー活動に夢が拡大することを呼称する。

奉仕関連委員会

担当理事 伊藤 正貴

《方 針》

会長方針である【楽しもうロータリー】を実践し、コロナ禍の中で可能な限り地域社会に密接した奉仕活動を行い、地域の人々に笑顔が届くような活動を進めていきたい。

また、前年より始まった横断歩道横断旗の寄贈の継続や、今期から継続事業として始まるトスボール大会の円滑の運営を実現します。

《実行計画》

- ① 社会・国際奉仕委員会の実行計画の推進
- ② 職業・青少年奉仕委員会の実行計画の推進
- ③ コロナ禍で取り組める、クラブ奉仕・社会奉仕・国際奉仕・職業奉仕・青少年奉仕の五大奉仕活動を実現していく。

社会・国際奉仕委員会

委員長 鈴木 洋一 副委員長 渡井 克正

委 員 堀内 岳

《方 針》

会長方針である「楽しもうロータリー」基付き、社会・国際奉仕委員会の活動によってクラブの活性化を図るとともに、地域に対する認知度のさらなる向上を目指して楽しい奉仕活動を実施したい。

《実行計画》

- ① 恒例となっているピーナッツ掘の実施
- ② ポリオ撲滅のキャンペーンに参加
- ③ コロナ禍での取り組める奉仕活動に参加・協力

職業・青少年奉仕委員会

委員長 田中 伸宜 副委員長 生駒 秀之

委員 中村 明正

《方針》

【職業奉仕】

会員各々の職業を通じて会員相互の理解と信頼を深めるとともに、地域への活動の輪を広げて社会に奉仕する。

【青少年奉仕】

次世代を担う青少年の生活や活動に支援と協力を継続的にしていく。

《実行計画》

- ① 綾瀬市野球連盟のトスボールの継続的支援を行う。
- ② 綾瀬市内学区の横断歩道用横断旗の補充等にかんしての支援を行う。
- ③ 新一年生へのランドセルカバー寄付事業の継続。
- ④ 地区委員会の情報を卓話等通して会員へ伝える。

財団・米山関連委員会

担当理事 志澤 直樹

《方 針》

本年度も引き続きロータリー財団・米山奨学会の目的や意義の理解を深め、会員の皆様からの貴重な寄付金のご協力を頂けるよう各関連委員会を支援し地区目標を目指す。

《実行計画》

- ① 財団活動事業や米山奨学金についてご理解を深めていただき、各寄付金のお願いを実地する。
- ② ロータリー財団学生・米山記念各奨学生による卓話の企画

ロータリー財団委員会

委員長 関川 秀三郎 副委員長 山下 恒久

委 員 伊東 裕之

《方 針》

ロータリー財団活動事業及び地区目標を、会員に理解と協力をお願いし、情報提供をする。

《実行計画》

- ① 会員の理解を得て、年次寄付を一人200ドル以上お願いする。
- ② ロータリー財団月間(11月)に、財団学生の卓話をお願いする。
- ③ ポリオ40ドル以上(撲滅までの理解)

米山記念奨学委員会

委員長 見上 周太 副委員長 加藤 良男

委 員 松原 政次

《方 針》

米山記念奨学金の目的や意義を会員の皆様に理解してもらいご協力をお願いして早期目標達成に努力する。

《実行計画》

- ① 米山奨学生に卓話をお願いする。
- ② 地区目標額 15,000円(一人当たり)の寄付金のご協力をお願いする。